

2つの学校給食センター調理業務を民間委託へ… 安心安全な給食の提供体制は？

民報

おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目
59番地
Tel 24-2021
Fax 24-2049

7月17日に行われた奥州市議会全員協議会では、5件について説明がありました。その中の学校給食施設の統廃合と調理業務の民間委託について、日本共産党の佐藤美雪市議は、安心安全な学校給食の提供体制を求める立場で当局に質しました。

奥州市教育委員会は、老朽化した学校給食施設の再編と調理師不足への対応策として調理業務を民間委託する方針を示しました。

26年4月から東水沢、江刺の2給食センターで調理業務を委託するというものです。

市の調理師は、26年度新設予定の（仮称）奥州西学校給食センターに集約し、スムーズな稼働、給食提供を目指し、当面の間、真城給食センターは直営で行う、としています。

働く環境の改善、会計年度任用職員への対応は？

佐藤美雪議員は、「特に会計年度任用職員の慢性的な欠員状態について、人間関係など働き方に困難を抱えた職員への聞き取りや職場環境の改善に取り組むことが先ではないか」と質しました。また、職場が集約されることで、通勤距離の問題

で断念する職員への対応について質しました。



民間委託される施設でも現状と同等の待遇で働けるように

教育委員会は、「これまで個別のヒアリングや施設長が職員間の調整を行うなど対応してきた。集約される調理場の会計年度任用職員についてもヒアリングをし、民間委託される施設での勤務を望む職員には、現状と同等の待遇で働けるように業者選定に反映させていきたい」と述べました。

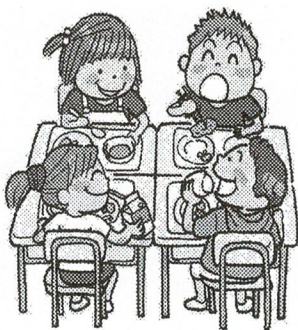
アレルギー対応や食育 安心安全な給食の提供体制を！

佐藤議員は、民間委託になることで、アレルギー対応への安全性の確保や栄養教諭と調理員との連携が希薄になり、食育活動への影響を指摘しました。

教育委員会は、「アレルギー対応マニュアルを再整備し、来年度から運用していく。食育に関しては民間だからこそできる食育のアイデアに期待している」と述べました。

完全民間委託になっていくのではないか？

この方針では、民間委託をする施設でも県や市の栄養教諭と市の施設長が配置され、献立や食材の調達を行い、給食全体の責任は市が担う、と説明しています。しかし、合併後、正規の調理員を採用せず、行革を推し進めてきた市の姿勢から、今後給食事業の完全な民間委託も想定されます。安心安全な給食を子どもたちに提供するためにも、今後の状況を注意深く見ていく必要があります。



コメ・消費税・新医療センター を考える

胆江労連 サマーセミナー学習会 開催！

〇いつ 8月11日（月・祝）

14時から15時半

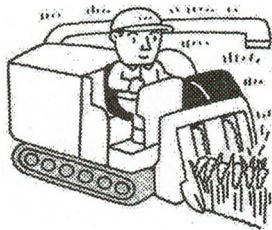
〇どこで 水沢地区センター

コメ不足…

物価高騰対策…

いのちを守る政策…

ぜひ、ご参加ください！！



平和のつどい

★絵本「とばないひこうじょう」スライド上映

（絵・文 森田 純）

朗読：宮地紘子さん

お話：穴戸春雄さん

★「被団協」ノーベル平和賞受賞式随同行報告

岩手県被団協事務局長 下村次弘さん

～被爆80年 核兵器なき世界をめざして～

●8月17日（日）

14時から15時半

●Zホール展示室

主催：2025平和のつどい実行委員会